

1. 公益目的事業の実施内容

1-1 支援プロジェクト

1-1(1)教育支援

・学校建設支援

連携団体と調整を行い、次の支援校を決定した。（2025 年度完成予定）

ポーサット州 トムポー小学校

・奨学金支援

◆連携団体：KKEV（現地 NGO）

◆対象地域：カンボジア・センソック地域（プノンペン市郊外）

◆支援額：約 87 万円 ※6000 ドル

プノンペン・センソック地域に暮らす、成績優秀で進学意欲はあるが、貧困のために学校に通い続けることのできない中学生～大学生へ、奨学金制度を通じて教科書、制服、交通費の支援を行った。2023 年は 13 名（スカラーペアレント制度：11 名、セカンドハンド・ユース：2 名）を支援し、このうちユースが支援を行う学生 1 名が高校を卒業した。

9 月の渡航では、日本の支援者と現地学生との間で行った、手紙やプレゼント、動画メッセージ等の交換をサポートした。渡航に参加したセカンドハンド・ユースの学生と支援者は、現地で日本食の紹介や異文化ディスカッションを通じ、現地学生との交流を深めた。

1-1(2)自立支援

・女性の自立支援

◆連携団体：ラチャナ・ハンディクラフト・バッタンバン（現地 NGO）

◆対象地域：カンボジア・バッタンバン州

◆支援額：約 22 万円 ※1500 ドル

現地の女性たちが製作した布製品を適正な価格で購入し日本で販売することにより、生産者の生活を支え、経済的自立への支援、フェアトレード商品の普及を図っている。商品の販売は、チャリティショップ内だけでなく、広く日本各地でのイベント出店も行っている。また、様々な企業や店舗のご協力を得て委託販売を実施し、より多くの方々に商品を手にとってもらえる機会となっている。更に認知度を上げるため、ネット販売も行っている。

2013 年度より、高松市内にある保育園からの委託で、制服の製作依頼も行っている。

«委託販売先» 順不同・敬称略

和 Cafe ぐう（香川郡直島町）、カフェレスト オリーブ（三豊市）、
三宅産業株式会社（高松市）、セカンドハンド北海道



・フォスター・ペアレント制度

- ◆連携団体：ホームランド（現地 NGO）

- ◆対象地域：カンボジア・バッタンバン州

- ◆支援額：約 140 万円 ※9720 ドル

ホームランドが支援する孤児や養育に欠ける子ども達が、学校に通い、自立できるように支援している。フォスターペアレント制度を通じ、2023 年度は 34 名の子どもたちを支援した。現地訪問で、日本の支援者から現地子どもたちへの手紙やプレゼントの送配をサポートした。また、渡航に参加した里親と支援する里子との交流の時間を設け、相互理解に繋げた。

・貧困家庭への自立支援

- ◆連携団体：OAU（現地 NGO : Orphan Affairs Unit）

- ◆対象地域：マラウイ

- ◆支援額：35 万円

マラウイ共和国のマルンジエ地区で活動する OAU(現地 NGO)を通し、貧困家庭の子ども達への支援を行う。OAU の活動費は十分ではなく、活動はボランティアで成り立っている。セカンドハンドからの支援金は、施設整備や教材費に充てられる。

・保健衛生プロジェクト

連携団体：ホームランド（現地 NGO）

対象地域：カンボジア・バッタンバン州

ホームランドを通じて支援を行う約 35 名の子どもたちを対象に、家族全員が健康で清潔に過ごすことができるよう、また慢性的な栄養不足を改善するため、ホームランドスタッフや子どもたち、その保護者に対し栄養改善プロジェクトを計画・実施した。

9 月には、専門家 2 名とともに、子どもたちの生活状態の把握や課題抽出のため現地調査を行い、調査の結果を受けて、3 月には栄養指導を実施した。

1-1(3)医療支援

本年度は実施していない。

1-1(4)緊急支援

・新型コロナウイルス感染症緊急支援

- ◆連携団体：香川県子どもの未来応援ネットワーク

- ◆支援額：20 万円

新型コロナウイルスにより影響を受けた貧しい子ども達のためにバザーを実施、寄附金を募り、香川県内の子ども食堂の運営団体に助成した。

助成先（5 団体各 4 万円）

どんぐりキッチン、たまのいえ子ども食堂、まなびやもも、
まんまるサポート、すまいるはうす



◆令和 6 年能登半島地震復旧支援（15 万円）

店舗等での募金とチャリティバザーの売上計 15 万円を日本赤十字社香川県支部を通じて支援した。

1-2 支援先視察・交流事業

1-2(1)事業調整者による現地視察

セカンドハンドは支援先のカンボジアに事務所を置かず、現地団体と連携し支援活動を行うスタイルを取っているため、必要に応じて支援先の視察・訪問を行っている。2023 年度は、職員を 2 度カンボジアに派遣した。

1-2 (2) 支援者と支援先関係者との交流

現地視察に日本の支援者の方々に同行していただき、支援先関係者と交流できる機会を設けた。9 月の視察渡航には、セカンドハンド・ユース 1 名、フォスターペアレント 1 名、ボランティア 1 名、3 月にはフォスターペアレント 1 名、ボランティア 1 名が同行した。

1-3 人材育成事業

1-3(1)セカンドハンド・ユースのサポート

世界が抱える問題に关心を持ち、問題解決の為に行動できる人材の育成を図るため、組織運営、イベント企画・運営、勉強会等、活動サポートを行った。

2023 年は、県内の高校や大学に通う学生 9 名が所属し、カンボジアの同年代の学生 2 名の奨学金支援のため、街頭募金活動を通じて支援金を集めた。

9 月には、現地渡航に参加したユースメンバー 1 名が、異文化交流やディスカッションを行い、支援する学生たちとの交流を深めた。また、日本にいるユースメンバーと現地学生たちとオンラインで交流する機会を設け、双方の理解促進に繋がった。

※セカンドハンド・ユースの活動内容は、「3. 関連する団体」を参照

1-3(2)ボランティア体験・インターン受入

学校等からの要請に応じて、ボランティア体験・職場体験の受入れを行った。

国際協力、ボランティア活動、職場体験など学習テーマに合わせたプログラムを作成し対応した。

《2023 年度の受入》順不同・敬称略

穴吹ビジネスカレッジ、高松市立紫雲中学校

1-4 観察・調査受入事業

高松市立中央小学校 5 年生の国際ボランティアチームの観察を受け入れた。観察後、子どもたちが主体となり校内で提供品寄付の呼びかけを行い、品物提供へと繋がった。
香川県立保健医療大学の地域連携実習における学びの場として、学生の受入れをおこなった。

1-5 講演・講座事業

1-5(1)香川大学国際協力論

本年度は、実施していない。

1-5(2)国際協力論合宿

本年度は、実施していない。

1-5(3)講演会開催

・主催講演会・講座

マラウイ現地報告会（2023 年 6 月 18 日）

カンボジア観察渡航報告会（2023 年 10 月 9 日）

1-5(4)講師派遣

セカンドハンドの取り組み、国際理解、国際協力等のテーマで講師派遣を行った。

《2023 年度の講師派遣先》順不同・敬称略

高松大学、高松市立林小学校、香川県立高松商業高校、宇多津町立宇多津小学校

高松ロータリークラブ、高松市婦人団体連絡協議会、高知県立高知追手前高校

1-6 広報事業

«メディア・新聞掲載»

能登半島地震復興支援チャリティバザーの紹介（四国新聞 2 月 22 日）

◆能登半島地震復興支援チャリティバザー
26 日まで片原町のけやき市場。国際協力団体「セカンドハンド」が主催。手芸用の布 1 フラッグを 1 円で販売し、売り上げ全額を能登半島地震の被災地へ寄付する。時間は 25 日が午前 11 時から午後 4 時、26 日が午前 10 時から午後 3 時。問い合わせは同団体事務局 <087(861)9928> 。

1-6 (1) キャンペーン

SNS 等を通じ、当団体の活動をはじめ、国際協力やボランティアの普及・啓発のため情報提供及び情報発信を行った。

1-6 (2) イベント開催

広くセカンドハンドについて知ってもらうため、主催バザーやイベント出店を行った。収益は、合計 637,060 円。

《主催イベント》 売上合計：200,800 円

7月 30 日、31 日 チャリティバザー（食器）27,500 円
9月 24 日、25 日 チャリティバザー（布）79,820 円
2月 25 日、26 日 チャリティバザー（布）64,400 円
3月 24 日、25 日 チャリティバザー（食器）29,080 円

《出店イベント》 売上合計:436,260 円

4月 15 日、16 日 三宅産業株式会社バザー 17,000 円
5月 28 日 フェアトレードまつり in かがわ 11,550 円
5月 21 日 エコメッセ 20 周年記念イベント@中野サンプラザ 13,000 円
6月 24 日、25 日 フェアトレードフェスタ札幌 19,900 円
9月 8 日 高松桜井高等学校文化祭 38,600 円
9月 16 日 和い輪いかい 6,100 円
9月 16 日 JICA 世界ふれあいひろば@札幌 6,600 円
10月 1 日 東かがわわくわく国際フェスタ 22,300 円
10月 9 日 かがわ国際フェスタ 31,600 円
10月 15 日 庵治わいマルシェ 6,800 円
10月 21 日 北海道国際協力フェスタ 31,540 円
10月 28 日 獅子たちの里三木まんで願。 30,020 円
10月 28 日、29 日 讃岐のイッピン！ええもんフェスタ 2023 40,900 円
11月 3 日 すなはまフェスティバル 21,700 円
11月 3 日、4 日、5 日 三宅産業株式会社バザー 25,850 円
11月 11 日 保健医療大学学祭 8,300 円
11月 11 日 御茶ノ水女子大学文化祭 10,300 円
11月 24 日 宇多津小学校学習発表会 26,100
3月 2 日、3 日 第 21 回うたづの町家とおひなさん 68,100 円

1-6 (3) セカンドハンド通信発行

支援先の現状や国内での取り組みを中心に、国際協力やボランティアの普及・啓発のための情報提供など、広くセカンドハンドに関心を持つもらうための内容を工夫した。

・ニュースレター発行

全国の支援者や希望者に無料発送するだけでなく、ホームページでの公開、様々な施設において配布した。支援先の現状や事業の進捗報告を中心に、国際協力やボランティアの普及・啓発のための情報提供など、広くセカンドハンドに関心を持つもらうための内容を工夫した。

■ 2023年4月発行 Sambot Vol.112

内容：フェアトレード商品新商品紹介、提供品募集、こども食堂支援

■ 2023年7月発行 Sambot Vol.113

内容：マラウイ支援、フォスターペアレント募集、視察渡航決定

■ 2023年10月発行 Sambot Vol.114

内容：カンボジア視察渡航報告、保健衛生プロジェクト事業報告

■ 2024年1月発行 Sambot Vol.115

内容：フェアトレード新商品入荷、設立30周年のお知らせ、ボランティア紹介

1-6(4)ホームページ

ホームページを通して、当団体の活動や支援先の状況等の情報を発信している。

1-7 チャリティショップ定着・3R促進事業

	高松店	片原町店	松縄店	3店舗合計
2019年度	2,210,140	8,800,275	1,224,090	12,234,505
2020年度	1,808,765	7,423,944	1,518,575	10,751,284
2021年度	1,932,400	6,514,035	1,754,140	10,200,575
2022年度	2,261,600	7,408,830	2,315,740	11,986,170
2023年度	2,272,615	8,387,876	3,098,860	13,759,351

SDGsが広く市民に認知されるようになってきたこともあり、セカンドハンドの活動に関心をもち、提供品の持参や商品の購入を通じて関わる方が増えた。口コミやネットを媒体に新規顧客が増加し、それに伴い固定客も増えてきている。片原町店では、旅行客の入店も多く見られる。各店舗のボランティアが定着し、商品の流通が効率的に進んだ。売上はコロナ禍以前の水準に戻っている。

1-8 チャリティーイベント開催事業

チャリティあん摩マッサージ（片原町店） 4回 18,260円

2. 法人の管理運営に関する事項

■ボランティア等

- ・2023年度ボランティア延べ人数 & 提供者数

2023年度ボランティア延べ人数 & 提供者数										
	ボランティア数					合計 (人)	提供者数		合計 (人)	
	高松店 2階含む	片原町店	松縄店 2階含む	運搬	事務		高松店	松縄店		
2023年度合計	823	987	856	123	185	2,974	1,472	954	284	2,710
2022年度合計	697	781	877	180	67	2,602	1,487	903	289	2,679
2021年度合計	570	702	478	120	90	1,960	1,557	827	258	2,642
2020年度合計	586	778	406	151	45	1,966	1,755	865	330	2,950

■総会・理事会の開催

2023年6月18日 総会

2023年5月21日、2024年2月23日 理事会

3. 関連する団体

■セカンドハンド・ユース

2023年度は、募金活動とイベント開催で約35万円を集め、貧困のため学校に通えない学生2名の奨学金支援を行った。



■セカンドハンド北海道

イベント出店の収益金寄付などを通じてサポート

■セカンドハンド関東

イベント出店の収益金寄付などを通じてサポート

■セカンドハンド駒ヶ根

講演やイベント出店などの活動紹介を通じてサポート

■セカンドハンド大阪

経理面でのアドバイス、決算書や申告書の作成を通じてサポート

■日本チャリティショップネットワーク(JCSN)

全国のチャリティショップ運営団体で構成された、国内でのさらなる定着を目指したネットワーク団体。

5月に開催された、東京エコメッセの周年記念イベントに参加し、フェアトレード商品の販売を行った。

7月にはフォーラムに参加し、活動報告、情報交換を行うとともに、東京、横浜のチャリティショップを視察した。3月には大阪で活動を行うチャリティショップ KANAU の視察を行い、運営方法について学んだ。